

レビューシート（令和4年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式3

	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度見込	7年度目標	最終目標【年度】	
評	成果指標(アウトカム指標①) 来街者数が増加したと回答した商店街の割合(商店街支援事業アンケート調査)	目 標	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	
		実績(見込)	47.0%	55.0%	48.0%	60.0%	【-】	
		(単位当たりコスト)	(12,206千円)	(5,996千円)	(32,585千円)	(26,207千円)		
		達成率(見込)	78.3%	91.7%	(80.0%)	(100.0%)		
価	成果指標(アウトカム指標②)	目 標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
指	活動指標(アウトカム指標③)	目 標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
指	活動指標(アウトプット指標①) 商店街買い物アシスト支援団体数	目 標	6	5	5	5	5	
		実績(見込)	4	2	(3)	(5)	【-】	
		(単位当たりコスト)	(1,434千円)	(1,649千円)	(5,214千円)	(3,145千円)		
		達成率(見込)	66.7%	40.0%	(60.0%)	(100.0%)		
指	活動指標(アウトプット指標②)	目 標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
指	活動指標(アウトプット指標③)	目 標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
標	終期設定	有 ()					無	
	改善基準							

自	評価の視点	評価	目標に対する達成状況(総合的評価)
己	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	買い物弱者対策について、近年、ネット通販の普及による食料品店撤退等に伴い、中山間地域に加え郊外でも需要の高まりが見受けられ、県民ニーズを的確に捉えることができている。	B : ほぼ満足 の い く 実 施 状 況 県民ニーズも高く、過年度の利用団体の中では、実際に自走に至っているケースもある。制度内容についても適宜見直しを行い、幅広い利用に繋がっている。一方で、各指標においては目標未達となっており、継続して改善を実施する必要がある。
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など	5年間の補助期間において、補助率を低減(1~3年目:1/2、4~5年目:1/3)させるなど、事業者による自走を促すための工夫を行っている。	
評	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他		
	説明 { R7年度から補助対象者に「商工会議所等からの推薦を受けた法人」を追加していることから、法人による移動販売事業の取組を促し、民間ノウハウを活用した好事例の商店街への横展開を図る。 }		
外部委員会意見	○委員会の意見を踏まえ、福崎町での移動販売事業の視察会を実施し、商工会を通じた好事例の横展開を図ったことは高く評価できる。また、補助対象者の拡充により個人事業主や法人の参入を促し、実績の向上にもつながっている点は改善の成果といえる。 ○一方で、各指標において目標未達の状況が続いており、事業の成果をより可視化するための評価指標の精緻化や、支援団体数の拡大に向けたさらなる働きかけが求められる。 ○今後は、民間ノウハウを活用した好事例の収集・共有を継続し、商店街への横展開を一層推進するとともに、地域の実情に応じた柔軟な支援制度の設計・運用が期待される。		